

岩手地区区市町連携で共通課題を解決へ

岩手地区議会議長会の要望内容（要約）

- ① 広域的な観点からの道路の整備促進
- ② 地域振興の観点からの道路の整備促進
- ③ 県立高等学校の存続（1学年2学級の継続など）
- ④ 魅力ある農業農村を復活させる農業振興策の推進
- ⑤ 100年先の山村経営を見据えた林業振興策の推進
- ⑥ 農業農村整備にかかる財源確保
- ⑦ テレビ共同受信施設の改修に対する財政支援



大会決議を行う中崎議長（左）と議長団を務める鈴木議員（右）

岩手地区議会議長会（佐藤弘吉会長・岩手町議会議長）主催による、第64回岩手地区議会議員大会が、7月28日に当町のもく・木ドームで開催されました。地区内の議会議員、来賓に県議会議員と市町長ら約80人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

県立高等学校の存続 1学年2学級の継続など

共通課題を決議

この大会は、滝沢市、岩手町、雫石町、葛巻町で構成する市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力するため、毎年開催しており、今年も当町のもく・木ドームが会場となりました。

大会では、道路整備など喫緊の課題7項目を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、山崎邦廣議員が「県立高等学校の存続」について特色ある学校経営に配慮し、1学年2学級を継続するなど、均衡ある高等教育を確保できるような提

案しました。満場一致で承認された7項目は、8月に地区議会議長会が県選出国会議員や県の関係機関に対して要望活動を行います。10月には、岩手県選出国会議員や国の関係機関に要望を行う予定です。要望を行う主な内容は、左の表のとおりです。



提案説明する山崎議員

岩手の未来を学ぶ

～産学連携研究員の講演～

岩手地区議会議員大会終了後、東北大学大学院環境科学研究科産学連携研究員の内山愉太（うちやまゆうた）氏による講演会が開催されました。

「岩手の地域社会の未来へ人口減少社会に磨く地域の宝」と題し、岩手地区内市町の農業の概要について触れた後、岩手県は北海道、青森県に次いで、全国第3位の自然エネ

ルギー供給地であり、潜在能力が高い地域であることの説明がありました。そのほか、農産品のブランド化の事例や、未来に向け地域に今あるものを強くすることで、特色ある食料・農業を展開することなど、今後の地域づくりの参考となる講演内容でした。



講演する内山氏